

児童発達支援・放課後等デイサービス評価表【事業所用】

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				・活動スペースが分かれているのでそれぞれに行いたい遊びが提供できている。 ・スタッフの見守り方次第で死角を無くし快適に過ごすことができる。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	3	2			・もう少し人手が欲しい…
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	1			・外階段がやはりネックだと思う。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5				・支援児における課題と事業所としての課題がきちんと分けられていると思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				・長期休み等の活動時に事前にアンケートを取り実費がかかる活動をきちんと知らせ、どのような活動の意図かを伝えられている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				・新年度にHPをリニューアル予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3			2	・第三者委員会にも今後、業務評価を行って頂く予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				・Zoom会議等、会場まで行くハードルが低くなった。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				・利用開始前にアセスメント/フェイスシートを必ず保護者に提示しており、計画も一緒にもらうので契約時に相談しやすい。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5				・主治医等の情報をもとに遠城寺式発達検査を行ったりしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		1		・知識経験不足で現場責任者に立案できていない…。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5				・継続して行う活動には定期的提供して、飽きがこないように活動の展開を写真やイラストにして提供している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				・平日には短時間で取り組めるものを、休日には半日ごとのプログラムを立てている。 ・長期休暇は日をまたいで行う活動を提供している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を作成しているか	5				・計画書までには記載できていないが、情緒の状態に合わせて子ども同士の組み合わせや活動予定を変更して提供している。 (気持ちシート)
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1			・AM中にスタッフ全員が集まるときには必ず行うようにしている。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1			・送迎時間ギリギリになってしまった時にはメモを取り、翌日に共有する等の対策をしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5				・その日中にケース記録を残すようにしている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5				・連絡ノートを用いて、支援児の日々の様子を伝えながら、保護者としてのニーズを伺い、その都度支援に反映するようにしている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	5				・複数組み合わせる場合や、休日等に午前の部と午後の部に分けて展開している。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			1	・児発管及び現場責任者2名が必ず打ち合わせを行い会議に参加している。	
	21 幼稚園やこども園、学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5				・こども園及び支援級クラスへの訪問に伺っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5				・現在常時医療ケア児はいないが、退院後に保護者とともにこども病院主治医からの日中支援のアドバイスや基礎疾患の症状等の打ち合わせを行った。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4				1	・現在放デイ利用の支援児には実施していないが、児発利用児には連携を密に保護者も含めて行っている。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか						・現在対象児なし
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5					・きらりや済生会病院、Dr前田の研修に定期的に参加している。 ・ペアレント・プログラム認定講師として参加している。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5					・法人内別事業の児童クラブ利用児と一緒に長期休暇には、計画を立て制作活動やクッキング等を行っている。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			3		2	・参加できていません。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5					・連絡ノートだけではなく、学校の先生やこども園の先生から様子を伺いその経過からポプリではどのような様子であったのかを送迎時やお迎えの時に伝えるようにしている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	1			1	・本当は希望者を集めて行いたいですが、今年はコロナ禍もあり実施できていません。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5				・契約時に重要事項説明書を読み上げ、持ち帰ってもらい適宜分からないところは再度聞いてもらうようにしてる。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5				・必要に応じて事業所内相談支援を実施している。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか					・開所1年目ということもあり、またコロナ禍のため実施できていません。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5				・今のところ苦情は頂いていませんが、意見としてお話があったときにはすぐにスタッフ全員に伝え、ミスや間違えがないように徹底している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5				・毎月の予定表と一緒にもしくは後に、活動予定表（給食メニューを含む）を配布している。
	35 個人情報に十分注意しているか	5				・基本的に外部での会議やミーティングはしていない。 ・事務所内にある個票は持ち出し禁止にしている。
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5				・必要であれば同伴して区役所等に伺っている。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか					・開催できていません。（保育園部門の餅つき会等への参加はしている）	
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	1		・マニュアルはあるが保護者への伝達が不十分である。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1		1	・訓練は行っているが実際に災害が起きたときは不安である。（子どもの障害レベルによって）
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5				・参加申し込みをしたが、コロナ禍で中止になってしまった。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に記載しているか	5				・基本的に身体拘束はせず、自傷行為や他害になりそうな場合には職員が必ず防ぐようにしてる、（別室につれていく等）
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5				・現在アレルギーのある子はいないが、家庭で食べたことのあるものを児発利用児には提供するようになっている。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3			・事業所内での文章化はできていないが、その都度ヒヤリ・ハットがあった場合には報告書を提出するようになっている。